

豊かな心の育成推進プラン

| 重点取組分野 | 具体的取組 |
|-------------|---|
| 人権教育 | ①なかよし活動や他学年との交流、地域施設との交流を学習活動の中に位置づけ、自他を大切にすることの重要性に気付くようにする。 ②かけがえのない命の大切さを知り、生命を慈しみ尊重する心や態度を育成するため、「いのちの教育」を実践する。 ③特別の教科「道徳」の学習の中で、考え方や感じ方を交流し合い、自己を見つめ、自己の生き方についての考え方を深める。 |
| 担当 | 人権・保健・道徳 |

豊かな心に関わる本校の状況

【児童の実態】
令和元4年度の横浜市学力・学習状況調査(生活意識調査より)

■自分にはよいところがあると思いますか

■自分のことが好きだと思いますか

素直で、様々なことに意欲的に取り組もうとする姿がある。また、人とのコミュニケーションを積極的にとろうとするよさもみられる。
その一方で、最後までものごとをやりとげようとする姿勢や、自信をもって取り組むことに課題がみられる。粘り強く取り組むことや、周囲の人との関わりを通して、達成感や満足感を味わい、自己肯定感を高めたい。

今年度の目標

友だちや地域の人たちと積極的に関わることで、めあてや問題解決に粘り強く取り組む子を育て、「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指す。

目標を実現するための具体的行動プラン

| | |
|------------|--|
| 上半期 | ①6年生がリーダーとなる、なかよし活動という縦割り活動を行い、思いやりの気持ちや協働的態度、グループ内での自主的、実践的態度を育てる。 ②「いのちの教育」を通して、自他ともいのちを大切にする心情を育てるとともに、友達との違いやよさに気付き、お互いを尊重しようとする態度を育てる。 ③道徳教育の要となる道徳科の指導を通して、子どもが道徳的見方・考え方・感じ方を多様に広げ、日常生活に生かせるように日々の学級活動を充実させ、自己を深く見つめ、よりよく生きようとする道徳的実践力を身に付けられるようにする。 |
| 下半期 | ①充実した縦割り活動を目指し、それぞれの活動の目的を明らかにしながら、年間計画をたてたり、たてわりグループの作成の際には、職員間で共通理解をもったりする。また、1年間の活動を通して、6年生のリーダーとしての自主性、主体性を育てるようにする。 ②低学年・中学年・高学年のそれぞれの目標にむけて、各教科と関連付けながら、内容を検討する。また、毎年学習した内容を「いのちの学習ファイル」に残し、6年間の自己の成長を振り返られるようにする。 ③保護者に向けて、全学級が年1回以上、道徳の授業公開を行うようにする。また、学年別年間指導計画をもとに、教育課程を見直ししながら、実践意欲を高めていくようにする。 |